

つながい

中間が 終われば次の
目標は 中体連で
Fly High!!

菊陽町立菊陽中学校
進路だより NO. 11
令和7年6月12日(木)
文責：片山慎二

高校の選び方で知ってほしい6つのポイント

「何を基準に高校を考えれば良いかわからない」「志望校がわからない」そんな悩みがちらほらと聞かれます。



今回は、第2回進路希望調査が迫ったこの時期、「**どうやって高校を選ぶ？ 6つのポイント**」と題して3回にわたって紹介します。何かの参考になれば幸いです。

1 将来の夢、なりたい自分から逆算して考える

高校には「学科」があり、その高校の特色を出しています（進路通信参照）。

看護師になりたい人は「看護科」、調理に興味のある人は「調理科・食物科・家政科」、大学進学を考えている人は「普通科」といったケースが一般的ですが、共通するのは「**その学科で何を学びたいのか、卒業後の進路(進学・就職先等)はどうなのか**」ということです。



その高校、その科でどんな道が拓かれているのかは、「進路案内」で確認をしましょう。

入学するのがゴールではないことを覚えておきましょう。

近道の学科は？

2 学費で考える (公立は安い？！)

高校は義務教育ではないので、学費がかかるのは仕方ないことです。単純に学費だけで計算すると、公立高校が圧倒的に安いです。

授業料無償制度によって次年度から高校は授業料はかかりません。しかし、その他の学費(入学金・教科書代・生徒会費・冷暖房費等)を合わせると、公立高校とは言え、年間30万円はかかるでしょう。さらに私立は施設維持費等もかかるので、年間で50万近くはかかると、考えた方が良いでしょう。

以上のように見てみると、「公立の方が安い」と思うでしょうが、果たしてそうでしょうか？



私立の場合、寮を併設したり、スクールバスを運行しているところもあります。寮はお金がかかりますが、通学時間が短くなるので、空いた時間を効率的に活用できます。スクールバスは通常の定期代より格安です。

また、塾に頼らず、独自に課外を設けている私立高校もあります。このような「**見えない学費**」まで計算すると、私立とは言え、公立とあまり変わらないケースもあります。(予備校等に頼らなければの話ですが)



学費も「進路案内」に詳しく載っているので志望校でどれくらいかかるのか、見ておきましょう。

※返信欄(進路に関する質問や、感想等ありましたらお書き下さい。)

生徒氏名 ()

保護者氏名 ()